

Quality Endorsed Learning for Life



**Inter-
Cultural
Education
Today**

**ICET 正規高校留学
プログラムのご紹介**



ICET Know Yourself, Create Your Future.



ICETの高校留学

ICETには2種類の留学コースがあります。

留学コース	留学概要	期間
1年間留学	日本の高校に属しながら1年間の高校留学。現地の学生と同様に正規授業を受講しながらカリキュラムの半分は集中的にESLの授業を通して英語の基礎、応用をしっかりと身に付けます。日本の学校教育施行規則により、留学も単位として認定されるため(※)1日本の高校でも留年せずに次の学年に進学が可能です。 高校1年生の1月より1年間留学する他、高校2年生の3学期から1年間留学をし、AO入試で日本の大学に進学することができます。1年留学の途中から3年留学へのコース変更も可能です。	1年間 (1月下旬～12月上旬迄)
3年間留学 (高校卒業コース)	オーストラリアの年度始めにあわせて、通常卒業見込みで中学校3年目の1月より留学を開始します。1年目は、ハイスクールの正規授業び集中英語コースの履修により、基礎及び応用英語力を習得します。2年目と3年目は、全教科において現地ハイスクールのカリキュラムを履修し、3年目の最後にHSC(高等教育終了試験)に臨みます。	3年間 (1月下旬～3年間)

(※)ICETのプログラムは、NSW州政府の教育省管轄にある学校との共同提携プログラムとして認可されており、留学先の学校での履修は、36単位を上限として、学校長の判断で日本の在籍校の単位として認定されます。



Davidson High School 留学先高校

NSW 州立男女共学の公立校:シドニーの中心部から30 kmほど北にある緑に囲まれた郊外に位置し、12歳から18歳までの生徒が通う中高一貫・共学の学校です。個々の学力の最高の伸びを促すと同時に、音楽、美術、ドラマ、ダンスなどのパフォーマンス・アーツ(創作芸術)に極めて優れ、地区大会、州大会で多数の賞を獲得しています。生徒のひとりひとりの能力を最大に開発することをモットーにしており、生徒は様々な分野で自分の力を発揮できる環境です。ICETはDavidson High Schoolと20年以上に渡り共同で留学プログラムを運営しています。



ICET高校留学英語カリキュラム

**ICET は独自の高度な英語教育”English for Learning and Communicationカリキュラム”を開発
日本からの留学生が現地の高校で学習するために必要な力を付ける4つの軸**

ESL English as a Second Language	Academic English Functions of English	Global Issues	Electives
英語を英語で学ぶ	アカデミック英語	グローバル問題	選択授業
ESLの集中講義は、生徒自身の実生活や学習に関連した内容、語彙、文法を深く学習し、意識的に使うようにする機会を学ぶ授業であり、コミュニケーションの為の読む、書く、話す、聞くの技能を様々な授業活動を通して発展させることを目的としている。	様々な読み物、視聴覚教材を使って学習し、授業で取り上げる問題について小規模のグループやクラスで分析し考察し英語を使った表現を発展させる。 評論的な視点を持った読み進め方や、ディスカッションに必要な技術を生徒が身に付けることを目的としている。	時事問題、環境問題などのテーマ、トピックについて学習を進める。知識を深め学問的な英語やESLで学習した技術を再利用できるように訓練する為のクラス。	現地のハイスクールの履修教科の中から数学とその他2教科を選び学習。授業は全て現地校の生徒と共に英語で行なわれ、受け入れ校の現地専任教員が担当。

ICETは日本からの留学生が確実に成果を上げるために特別に創られた学校です。

ICETは、留学生のために特別に作られた英語教育を中心とし、留学に関する様々な機能を持った学校です。世界で活躍できる若者を育てるため、オーストラリアと日本の教育者達の協力により、1991年に創設。ICETは、日本の生徒たちに英語学習コースを提供するために必要なNEASの認可を得ています。ICETの教育課程は、そのクオリティの高さと成果の高さに対して、NEASから非常に高い評価を得ています。毎年全国から1年間及び3年間の高校留学の生徒を受け入れ20年以上の実績を持ちます。

英語力の強化、異なる価値観の理解、社会生活能力の向上、一貫した教育理念、留学の確実な成果の確保、留学前の事前準備、留学中のケア、帰国後のケア、自己啓蒙の奨励など様々な面をカバーしたプログラムで安心して学習に専念することができます。生徒が短い期間に最大限の学習成果を上げ、次の学習過程に続くしっかりとした基礎を築き、国際社会のメンバーとしての礼儀を学び、信頼され尊敬される人となる価値観と教養を培うことを目的として創られた留学プログラムです。

CRICOS No. 01466B

- ICETはCRICOS-Commonwealth Register of institutions and Courses for Overseas Studentsの認定校 01466Bです。
- ICETはACPET-Australian Council of Private Education and Training (オーストラリア私立教育審議会)メンバーです。
- Quality assured by NEAS



留学1年目の授業内容

留学1日目から現地の高校生としてスタート、集中英語授業と現地の科目との両方を履修

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限目	ESL	CAPD	Academic Writing	Global Issues	Elective1
2限目	ESL	CAPD	Global Issues	Elective1	ESL
3限目	Elective2	Academic Reading		Maths	Functions of English
4限目	Elective2	Elective2	Sports	Reading& Literature	Academic Writing
5限目	Maths	Elective1	Sports	Maths	Global Issues
6限目	Support	Functions of English		ESL	Maths

●選択教科

選択教科は、現地の生徒と学習する大事な場です。ESL の授業で学習した英語を実地に使う場です。デイビッドソン校には、古代史、近代史、地理、ビジネス、法律、社会と文化、ダンス、科学、化学、物理、数学、生物学、情報テクノロジー、ライフ・マネジメント、ホスピタリティ、美術、音楽、演劇、服飾デザイン、スポーツ、写真、木工、フードテクノロジー、幼児教育などの科目があります。

●数学

数学は、ICET の生徒の場合には、必須教科として扱われます。

●ICETの特別英語教育

オーストラリアの高校で学習するのに求められる英語力を養成するために、ICETが学習カリキュラムを独自で開発。ESL, Academic English, Functions of English, Global Issues, Reading & Literatureなどの教科を通して、生活や学習の場面に合わせた使い方、読み、書き、プレゼンテーション、コミュニケーション能力などを総合的に学習します。

●異文化理解と自己開発 CAPD - Cultural Awareness and Personal Development

自分のパーソナリティや学習方法を理解し、周りの人々への理解を深め、社会の一員としての立場を考える分野の学習や、異国で暮らすための知識、生活のヒント、グローバルな視野の養成、国際的なマナー、異なる価値観、文化の比較などさまざまな角度から社会を見て考え、主体的な学習の姿勢を総合的に培う分野の学習です。

●スポーツ

留学先の高校で、サッカー、野球、バスケットボール、バレーボール、クリケット、ネットボール、スカッシュ、サーフィン、乗馬、ゴルフ等たくさんの種目の中から学期毎にスポーツを選択し現地の生徒と共に参加します。

●個別学習サポート

学校の授業の中での分からない事や提出物、作品への取り組みをESLの先生が丁寧にサポートします。この機会があることで毎週遅れを取る事なく生徒の進捗やニーズをしっかりと把握し選択授業の先生と連携し、また生徒も分からないことをしっかりと解決して次へと進むことができます。



ICET留学だからできること

ICETでは毎月様々なイベントや課外学習がもりだくさん、なぜなら体験を通じての学びを最も大事にしているから。

1.日豪間の歴史を知る

●キャンベラへの研修旅行

授業の一環として毎年首都キャンベラへ。第二次大戦中に日豪間で起こった事由を学習し、平和の意味を考えるための研修旅行。



2.オーストラリアの環境を知る

●Reef and Rainforest

さんご礁と熱帯雨林の旅

一週間ほど、クイーンズランドのケアンズで紺碧の海を眺め熱帯雨林の中で自然環境についてまたアボリジニーの文化についての学習。



3.オーストラリアの若者と共に考える

●URA フォーラム

ICETの生徒たちがリーダーとして企画運営する教育会議。シドニーの3校から異なる文化や国籍を持つ若者が集い、資源、IT、言語の変化、価値観や宗教観の政治や外交への影響などについて議論をします。

2012年のフォーラムのテーマは、今十代を生きる若者たちが遭遇する、あるいは、創り出したい世界像でした。現在を踏まえて、これから来る未来をどうすればいいのかを考えたとても有意義なフォーラムが開催されました。



留学生の声

井上夕香理さん

URAとは、Understand, Respect, Acceptの略であり、ICETの学生とシドニーに住むオーストラリアの学生が多文化社会に住むお互いの価値観や文化を紹介し合い、理解し、国際理解につなげようという国境や文化圏を越えた学生の交流会・討論会です。2008年度に行われた第3回目のURA FORUMでは、Davidson, Blacktown, MLCの学生とICETの学生が参加し、人種差別の問題、捕鯨問題、中国とチベットの関係についてディスカッションしました。日本人として、オーストラリアや日本のメディアからは伝わりきらない日本の捕鯨に対する問題に触れ、参加者に理解を示してもらえたことはとてもうれしかったですし、価値のある経験だったと思います。こうした経験を通じて、自ら行動を起こそうという意識も養われ、それは今の私の大学生活にも大いに活かされています。

この他にも様々なスポーツ大会や、スキーキャンプ、ホストファミリーとの親睦会、シドニー探索、Harmony Day, Enrichment Day, Language Day、現地生徒との頻繁な交流活動、日本語学校でのボランティア活動など様々な機会があります。

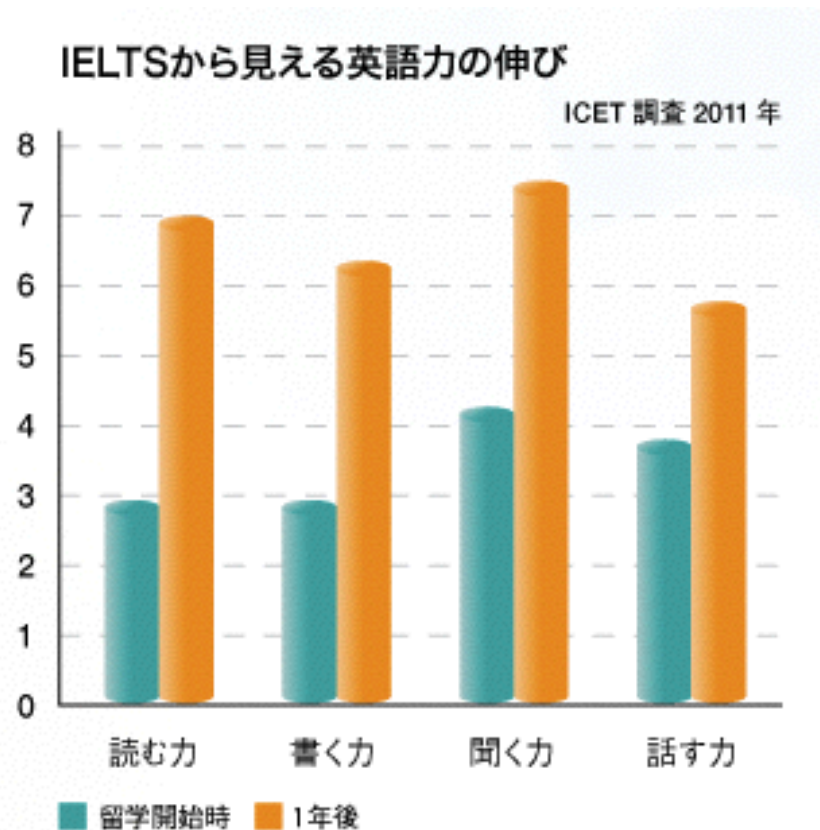


ICET留学にみられる成長 その1 英語力

留学ただで英語が伸びると思ったら大間違い！

ICETの英語教育は、1年目の時間割の約半分を占め、読む、聞く、書く、話すという言語の4つの機能を平行して高めていきます。極めて専門的な知識と技術を備え、その教師が提供する英語学習の授業は、ユニークで実践的な上、生徒一人一人のニーズに合わせた指導をするので、生徒は常に前向きな姿勢で学習に取り組むことができます。

ICETの英語教育の特徴として、英語能力の向上と**日本語能力の保持**が言語学習の両輪になるという事が上げられます。高校生は、まだ母国語の日本語を発達させている最中です。日本語に秀でる生徒は英語にも秀で、英語に秀でる生徒は日本語にも秀でることが、過去20年間の生徒たちの結果が証明しています。



●ICETで英語力が伸びる5つの理由とは？

ICETには

1. 20年の経験を生かした独自の英語カリキュラム
2. 英語力と平行して母国語を伸ばすことを奨励
3. 学校や日常生活など90%以上が英語の環境
4. 優秀なESL専門の先生によるユニークな授業
5. 少数制でチームによる学習活動

そして先生やホストファミリーによる日常の支援・鼓舞があるためです。



留学生の声 清水 和吉さん

私たちの力を伸ばす大きな助けは、ESLの先生。とてもユニークで授業内容が濃い！英語を書く、話す、読む、話すの4分野において基本的な力はもちろん、豊かな表現力が付きます。現地の高校トップの結果も残しました。オーストラリアの高校生と同じく肩を並べて学ぶことが出来たのもしっかりとしたESLの授業があったからだと確信しています。



ICET Know Yourself, Create Your Future.

留学生の声 逸見 弘明さん

留学生活の中でESLのクラスが一番印象に残っています。基礎の文法から単語の覚え方、英語の本を読む練習、発音の練習など、日本ですでに習っていたはずなのに留学当初は全然出来ませんでした。基礎が大事とよく言いますが本当にその通りだと思いました。授業中の生徒の自主性や主体性が大いに歓迎され、生徒自身が積極的に授業に参加、貢献しています。

そのような環境で自分も「やりたい」と思って自主的に勉強をすることができました。



CRICOS No.014668B

ICET留学にみられる成長 その2 自己啓発

15歳の生徒が一年海外で留学生生活することは9年分の成長があるって本当ですか？

ICETの最大の特徴は、ふたつの柱から成るそのカリキュラムの中身にあります。ひとつは、これから世界で活躍するためには不可欠である英語を身に付けるための学習です。もうひとつは、自己啓発のための学習です。高校時代の1年の留学は、国際機関のリサーチなどによると、普通に暮らす生活の9年分に匹敵する結果となるということです。それだけ、重みのある、そして、大きな人生体験だということです。

高校生という子供でもなく大人でもない微妙な時期にある青年には、学問のみでなく、心身の健全な生育を促す精神的な素養が欠かせません。それはきちんと構築された学習プログラムがあって初めて修得できるものです。ICETの学習プログラムの中では生徒一人一人が異なる文化の中で自立を育み、真のグローバル人材となるためのチャンスを様々な形で提供しています。

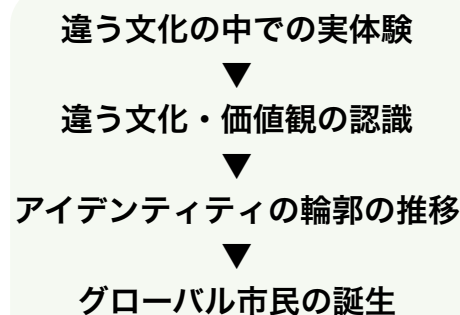
これが実践されている授業が

CAPD 異文化理解と自己啓発 です。

Cultural Awareness and Personal Development

●Cultural Awareness真の国際人を目指す

グローバルな視野の養成、国際的なマナー、異なる価値観、文化の比較などさまざまな角度から社会を見て考え、将来国際社会にどのように貢献できるのか、自分が受けた恩恵をどのように還元できるのか、グローバルな視点から考える授業です。



●Personal Development 1.自分を知ること

CAPDでは、ユングのパーソナリティタイプを用いて、自分のパーソナリティを理解し、自分や他者とのより良い付き合い方を学びます。自らと向き合う大変貴重な時間であり、ここから自分のあり方、今後の選択肢、などまたより包括的な視点から考えることができるようになります。

●Personal Development 2.自律した学習者となること

メタ知識と呼ばれる、人間の認識に対する理論を実践的に学びます。様々な学習理論やモチベーション理論を個々のパーソナル・タイプと組み合わせながら、各自の学習に対するアプローチを再確認します。自分の可能性を最大限に伸ばすために必要な力に自らの気づきを促し、日々の学習に役立てます。これにより一人一人が自律した学習者となる事を目的とし、長期的な視野で良き学び手となる力を養成します。

留学生の声

原野 乃李可さん

ICETのプログラムの特色は、生徒一人ひとりを大切にしてサポートしてくれること。語学はもちろん、ホストファミリーや選択授業、行事、人間関係など安心してオーストラリア生活を送れるように手助けしてくれます。ESLの授業は毎回楽しい雰囲気で行われ、日本とは全く違った学習方法で



英語を学びました。とても新鮮で心に残るものとなりました。そして、忘れられない授業がCAPDです。人生について、自分たちについて、様々なことを話し合い、自分を自由に表現する事ができた時間でした。そうした体験を通じて、精神的に大きく成長することができました。これから成長する小さな子どもたちに、私の愛を分けられるような仕事に携わる事が私の夢です。

留学生の声

小野 淑子さん

私は「個性」というものをすごく大切に思っています。それは、オーストラリアでの高校生活を通して自分と向き合う時間が増え、客観的に自分自身や周りの物事を見つめながら自分の存在の大切さに気付くことができたからだと思います。また、それを自身で理解する



ことで自信を持つことができるようになったし、心から人を大切に思うことができるようになりました。それ以来、「みんなちがってみんないい」という言葉を私のスローガンとして人と係わるようにしています。そのおかげもあって、今はより良い人間関係を築きながら楽しく充実した生活を送っています。



ICET 3年間留学 卒業後の進路

3年間留学卒業生の軌跡（2003年度プログラム開始より過去10年の実績 生徒数55名中）

日本の大学

- 筑波大学
- 秋田国際教養大学
- 横浜国立大学
- 横浜市立大学
- 宇都宮大学
- 埼玉大学
- 国際基督教大学
- 慶應義塾大学
- 早稲田大学
- 上智大学
- 中央大学
- 創価大学
- 津田塾大学
- 学習院大学
- 明治学院大学
- 成蹊大学
- APU立命館アジア太平洋大学
- 関西学院大学
- 姫路独協大学
- 東京国際大学
- 大阪芸術大学
- 名古屋芸術大学
- 龍谷大学
- 神田外国語大学
- 立命館大学
- 中京大学
- 広島女学院大学
- 大阪音楽大学付属音楽院



海外の大学

- UTS University of Technology in Sydney
 - San Francisco State University
 - Newcastle University
 - La Trobe University
 - Macquarie University
- ### 専門学校およびそれ以外の進路
- White House Fashion School
 - Hotel Management College
 - Ella Bache
 - TAFE
 - サッカープロ選手養成コース
 - Australian College of Natural Therapies

卒業生の声

言葉の壁を越えて生きる 渋谷 愛さん

現在は英語、イタリア語、日本語の3カ国語をどれも日常的に同じ割合で話す生活を送っておりますが、英語でさえままならなかった15歳の頃の事を思うと専門学校の1年を含むオーストラリアでの4年間でなければ今のライフスタイルには辿り着いていなかっただろうと思います。活発な十代を異国で過ごしたことによって私の人生にもたらされた影響は大変大きく、またかけがえのない財産です。人種の違い、文化の違いそして言語の違いなど恐れる事はない、不安に思わなくても良いと教えてくれたのはオーストラリアの4年間だったのだと思います。

人生における留学 公文 佐知子さん

ICETの経験がなければ、おそらく今の仕事を私は選んでいなかったと思います。ICETでは日本の高校生活に比べ自分の意見を発表する、話し合う、人前に立つ、という場面が多くあり、正直はじめは嫌で仕方がなかったのですが、ICETで鍛えられ、同時に楽しさも体験することができました。現在、年間を通して説明会や講演会など人前で話すことが多い仕事をしています。元々嫌いだった分野の仕事をしているわけですから、ICETは私の人生において影響力大だと思っています。

私の可能性 高橋 琴美さん

ICETは、私の人生を180度かえたと言っても過言ではありません。以前の私は日本と言う小さい箱の中で満足はしていたけれど、同時に退屈でもありました。私の可能性はまだあるはずと思い、自分を試す意味でICETのプログラムに参加しました。留学する前までは、自分の意見も言えないおとなしタイプでしたが、留学を通して自己を表現することの大切さを学ぶことができました。



保護者の皆様へ ICETのサポート

生徒一人ひとりが安心して、笑顔で、充実した留学生活を送ることが出来るために

ICETが最も大事にしていることは、生徒の福利です。安全で健全な生活を送るだけ楽しく送ることができるよう、そして、各人が最大の成果を得て留学を終了できるよう、あらゆる面において支援が出されます。生徒が毎日通う学校にはICETの専門教師、日本人スタッフも常駐しています。ホームステイファミリーとも常に連携しており、問題が生じた際には専属のホームステイコーディネーターが対応します。生徒の日々の喜びや成長を見守るICETのスタッフは、生徒一人ひとりに対して適切なアドバイス、サポート、時には気付きを促します。生徒が安心して生活を送る事ができることは、学習意欲を持ち続けるために欠かせない条件です。

①学校での学習サポート



②ホームステイのサポート



③留学生の安全・健康



④日本の高校との連絡



卒業生の声

左達 弥生さん



私はオーストラリアという新しいフィールドで本当に密度の濃い時間を過ごす事が出来ました。与えられる事に慣れていた日本での生活を改め、オーストラリアでは一瞬一瞬に“自分”を注ぎ込んだ事で、それまで味わった事のない楽しさを経験しました。その楽しさは単純なものではなく、自分の行動を自らが選択し、その選択に伴う責任感の上に成り立つものでした。留学は決して甘いものではありません。

家族と友達に加え、私を精神的な面で支えて下さったのは、ICETの先生方とホストファミリーでした。その支えがある中で、ICETの留学プログラムで得た体験は、今、私の未来の夢に向かう原動力となっています。この一年間で私は自分らしさ、そして、夢を見つけました。世界中の人々の心を健康にしていける、それが私の夢です。滞在中にホストマザーが体調を崩したときに何もしてあげられなかった経験から「人助けには言語以外に知識や技術が必要」と実感し、大学では看護を専攻する事にしました。夢を実現する過程で、困難も生じるとは思いますが、今はどんな問題も乗り越えていく自信があります。

留学生の保護者の皆様からのお便り

留学への事前学習、準備期間もあり、またICETによる十分なサポート体制が整っていたため、生活のあれこれを心配する必要がない分、娘は自分の興味のあること、知識の探求に没頭していた3年間でした。

初めて「本気」で取り組むものを見つけた彼女は、ICETが提供する3年間の英語教育に加え、更に、独自の勉強方で英語力を身につけ、「学ぶことの楽しさ」を体得し、確固たる自分を築き上げ、自信に満ちた人となりました。



ICET留学を推奨する10の理由

充実したサポートの中で自分の可能性を伸ばせる環境が、ここにはあります。

ICETの留学プログラムには次のような特徴があります。

- 1：充実したカリキュラム
- 2：優秀な教師陣と英語学習プログラム
- 3：Personal Development(自己啓発)
- 4：英語と日本語の両輪
- 5：語学学校に通学する必要なく高校留学スタート
- 6：1日目から現地のハイスクールの生徒
- 7：充実したサポートシステム
- 8：学校、社会、家庭生活の場での一環した英語学習
- 9：教育プログラムの一環としてのホームステイ
- 10：文部科学省から年間36単位まで認定される正規高校留学



Know Yourself, Create Your Future.

より良い明日を期待し夢を未来に託すのは、誰も同じです。今の自分を作るものは、過去における選択の積み重ねと体験です。未来の自分は、今から選択していくことの結果です。自分のアイデンティティをしっかりと理解することで、創りたい自分の未来がより鮮明に見えてきます。ICETの留学プログラムは、それをモットーとしています。



8. ICETスタッフより

未来は今日の教育に託されています。
ICETは20年間以上オーストラリア及び日本の教育者により高く評価され続けています。
ICETは応援します。これからの時代を生き、世代のリーダーになっていく若者の活躍を！



■舞台は世界

2000年、ICETのメンバーが初めてスワンヒルに降り立った、その中に僕はいました。

留学中に僕が決めていた事。それは

★絶対日本語を喋らないこと。最初の半年は日本語のある場所をことごとく避けてました。

★すべてに積極的に。興味がどんどんわいて、人に話しかけたり、誘われた事に必ず参加しました。

★そして一年を経て僕は語学だけでなく、積極的になれたり、今までよりより広い視野で物事を捉えられたりできるようになりました。何より、大切な仲間、そして今でも連絡を取り合う第二の家族を持つ事ができました。いつもいつも僕の支えです。

「人と違うことがしたい」「好きな事を続け、それで生活していく夢を叶えたい」外国での経験は僕を動かしました。今はずっと続けてきた「よさこい鳴子踊り」のチームがNPO法人となり、「NPO法人 颯爽JAPAN」の副理事長として活動しています。24時間OPEN、誰もが心を癒して元気になれるダンススタジオ設立を目指して、今はお祭りやチームのプロデュース、文化センターやスポーツクラブでの指導など、日々仲間と一緒に踊っています！踊りを通して、世代も立場も越えた出会いとハートの交流をもたらすことができ嬉しそうです。気持ちは常にインターナショナルに！ハワイ、トルコ、ポルトガル、今年はイタリアに踊りにいきます。いつかオーストラリアにも踊りにいきたいと願っています！これが、ICET時代が僕の中に残してくれたレガシーです。

山本 翔太さん



Inter-Cultural Education Today



■ICETのプログラムから世界へ

小野 淑子さん

親元を離れての異国の地での留学生活。「本当に英語は上達するのか？留学後の将来はどうなるのか？」そんな気持ちでオーストラリアの地に降り立ったことを、昨日のように思い出します。留学はおろか、海外旅行に行った事すらなく、特別に英会話のレッスンを受けたわけでもない、それが当初の私でした。あれから約2年。英語も日本語も、抵抗なく「日常生活のコミュニケーション・ツール」として活用できるようになったことはもちろん、ICET1年目のプログラム後半から、12年生の正規の学生として特別に飛び級を許して頂いたり、学校の優秀生として、現地の生徒会のメンバーと活動したりと大変充実した生活を送っています。私がこのように、英語力に限らず、様々な意味での成長を遂げることができたのも、全てはICETのプログラムに参加し、CAPD等、他の留学プログラムにはないカリキュラムやICETの先生方のサポートを通じて「国際教養」を身につけることができた結果だと思っています。「社会と文化」という教科の卒業論文で取り上げた事なのですが、日本が「英語が使える日本人を重視」し始め、年間数多くの学生達が英語圏に留学し、大学入試における帰国子女の枠もずいぶんと拡大されています。「英語が使える」ことは特別なことではなく、英語は「使えて当たり前」、むしろ英語プラス「特化した何か」が今社会で求められれています。英語は、本人の努力次第で伸ばす事が可能かもしれませんが、しかし、「その他プラス」の人間性の大事な要素をどう伸ばしたらよいのでしょうか。私が数ある留学機関の中からICETを選んだのはここに理由があります。ICETのプログラムは、様々なデータと経験を元に、いかに効率よく学習を促進し、一人ひとりの能力や長所を伸ばし、良き「国際人」の育成を目指すかを教育の理念としていたからです。これから留学を考えている方がいらっしゃるのなら、私は迷うことなく、ICETのプログラムから世界に羽ばたくことをおすすめしたいです。

■語学力の飛躍的向上・個々の資質の深まり 大石 健さん

ICETのプログラムに参加した多くの生徒が、かつてない英語能力の向上を経験しています。それは数字の上で確認できる最も大きな留学の成果と言えるでしょうが、ICETの留学は、語学力の飛躍的な向上のみならず、数値には観られない分野での成果が大きいと感じます。例えば、国際的な視野の拡大、己の心を見つめること、個人個人がもちいる可能性を引き出したり育てたり、あるいは新たな才能を発掘することなど、それらは、必ずしもすぐに他人に認められるものとは言えないかもしれませんが、何かを成し遂げたいと思っている参加者の人生において、きっと重要なものになるのではないのでしょうか。物事を始めることとは、まず「動機」があり、その動機をベースに最も適切な「行動」を選択し、実際に行う事だと私は認識していますが、留学する動機は大それたものでなくとも、ただ単に何かをするための別の動機探しというだけで十分かもしれません。その後に続く「行動」を選ぶ力は留学によって養われると思います。



卒業生の声



ICET留学までの流れ

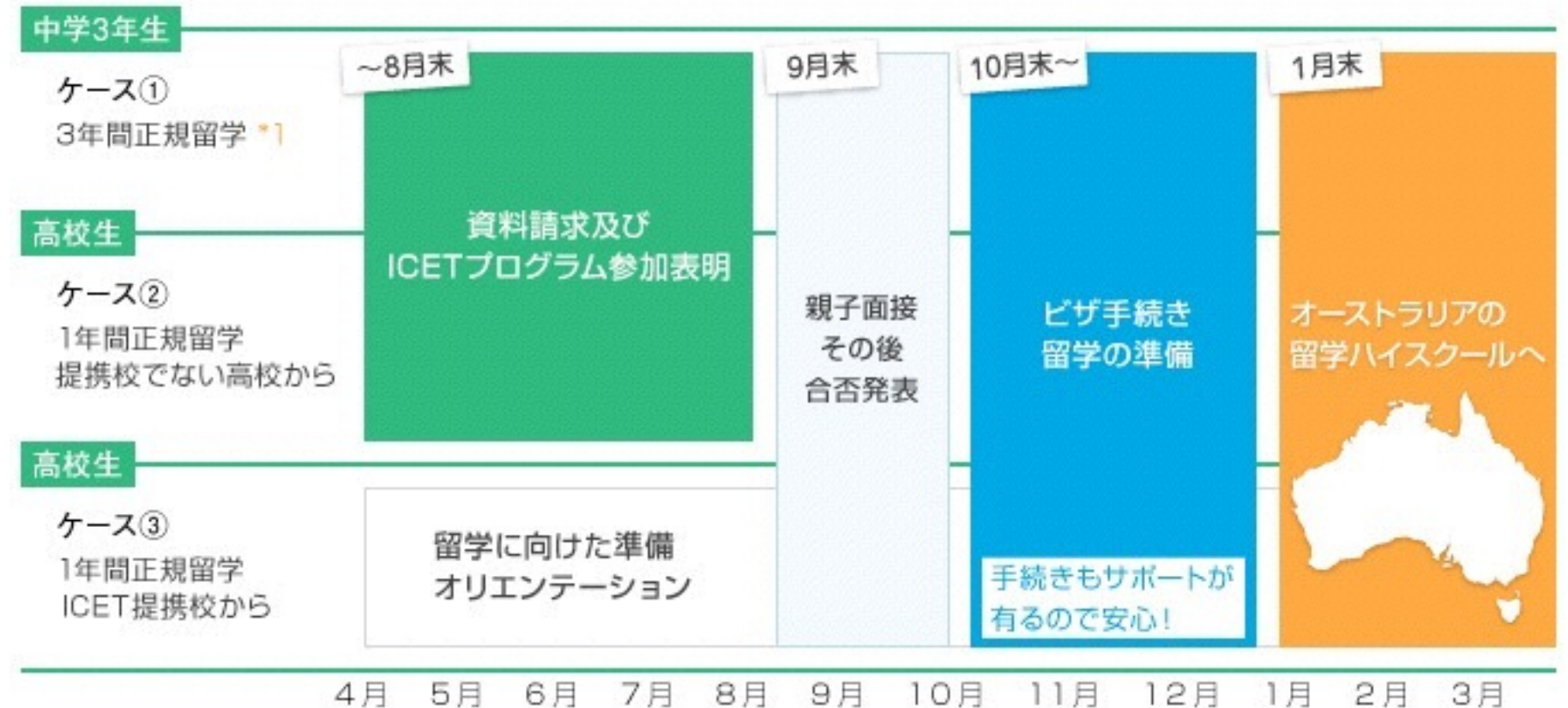
1年間、3年間留学プログラムの参加者を募集しています。

ご関心をお持ちの方へ

ICET のプログラムでは生徒自身のやる気が求められます。留学プログラムの参加可否は、学校の成績だけでなく、生徒のやる気、向上心、物事に取り組む積極性などが特に重視されます。どんな生徒でも、学習する意欲さえあれば、環境を変え最大限に成長する事が可能です。

留学手続きに関して

留学が決定した生徒に関しては、留学手続きのご案内を致します。ICETのスタッフと連絡をとりながら準備を進めていきますのでご安心ください。



ICETオフィシャルWebサイト

ICET留学プログラムに関する問い合わせ、資料請求などはこちらから

ICETホームページには、本冊子で紹介した諸情報はもちろん、ICETの様々なイベントや生徒の成長の過程がブログとして随時アップされています。留学に関するご質問等も受け付けています。本冊子で紹介しきれなかった留学生、卒業生、ICETのプロフェッショナル、そして保護者の皆様からの声もインタビューやエッセイとして掲載していますので、是非ご覧下さい。



<http://www.icet.edu.au>



ICET Know Yourself, Create Your Future.

お問い合わせ

お気軽にお問い合わせください。

TEL:+61-2-9975-7846

Email:icet@icet.edu.au

Address:

ICET (Davidson)
Davidson High School
Mimosa Street, FRENCHS FOREST
NSW 2086 AUSTRALIA

CRICOS No.014668B